

J-Win Next Stage

私たちが
企業・社会を変える
原動力になる

Women to the Quality!

Next Stageの“発信力”に期待 自己を高めると同時に学びを活かして 企業・社会に変革を実現!



内永ゆか子 理事長

NPO法人J-Win理事長
ベルリッツコーポレーション代表取締役会長兼社長兼CEO

日本のダイバーシティの 牽引役としての高い視座を

J-Winがスタートして6年。

グローバル化が加速する中で、ビジネスモデルは大きく変化し、日本の企業は世界を舞台に大きな変革を求められています。新しいビジネスモデルを創造するためには、「ダイバーシティ&インクルージョン (D&I)」が重要であり、日本の場合、「女性活用」がイノベーションの第一歩と訴え、そのための制度・風土づくりのお手伝いをしてきました。

この6年間でD&Iが「経営戦略」として重要であると広く認知され、実際に変化の手ごたえも感じ始めています。しかし残念ながら、世界経済フォーラム「男女格差報告」によると、2012年の日本のジェンダーギャップ指数は、135カ国中101位。2011年の98位よりさらに順位を下げ、世界の最低水準に低迷しています。つまり、世界はさらに先をいっているということです。

この大きな遅れを取り戻すためには、先をいく国々の状況を見て、聞いて、吸収して、日本の現状を変えていかななくてはなりません。世界各国とネットワークを構築し、影響を与えあいながら、日本のダイバーシティ推進のドライビングフォースとなるのがJ-Winの責務です。

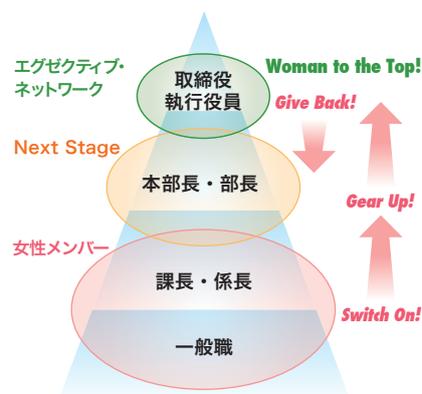
女性の成長を支援する3層のネットワークで企業・社会に変革を

ネットワークの1層目は、2年間の「女性メンバー」の活動です。様々な業種の企業から、幹部候補の女性たちが送り込まれ、研鑽しあう場となります。キャリアに対して及び腰だった女性たちも、ここで自らの可能性

に気づき、“Switch On”するのです。

2層目がこのNext Stageです。「女性メンバー」の卒業生たちが入会するOGネットワークで、2012年度現在その人数は約220名。「企業や社会の様々な分野でトップに立つ」という明確な意志を持った女性たちが新たな活動をスタートしています。

フルラインナップされた女性ネットワーク



そして3層目は、エグゼクティブ・ネットワークです。日本ではまだ数の少ない女性エグゼクティブの姿を、企業を超えて「見える形」にしました。働く女性たちのロールモデルとして“Give Back”し、メッセージを発信することで社会に貢献するとともにさらなる相互研鑽を目指します。

Next Stageは人材の宝庫。 さらなる“Gear Up”を

この3層の中間に位置するNext Stageは、今後ますますその重要性が増していくはずで

「女性メンバー」活動の卒業生たちがNext Stageに入ることによって、“Switch On”した女性たちの人材のプールとなります。このネットワークを活用して、まずはビジネスパーソンとしての幅広い知識やスキルを身につけ、視座を上げ、個を高める。マネジメントのスキルを磨き、企業・社会に対して常に働きかける存在として“Gear Up”してください。現状に満足せず、ステップアップしてエグゼクティブを目指す。あるいは企業とは一線を画す場での幅広い意味でのトップを目指し、女性たちの憧れの存在、かつ身近なロールモデルになってほしい。Next Stageはそのような結果を出すネットワークとしてぜひ成長して欲しいと期待しています。

“個”をつなぎ“ライフ”を支え 一生の財産となる「仲間」を

さらに私は、Next Stageが「仲間」と出会う場となり、企業人としてだけでなく、個人のライフタイムを支えあえる場になると考えています。いうなれば一生の財産です。

いま日本の社会は激変のただ中にあり、皆さんが「トップ」を目指すとき、それは上り坂だけの人生ではなく、下ったり駆け上がったたり、様々な試練があるでしょう。従来の強さや優秀さだけでなく、変化に対して適応できるか、自分の強みを変えていけるのか問われるのです。しかし、このような厳しい環境に身をおいたとき、自分ひとりではうまくいかないこともあります。そのときに自分を支えてくれるもの、それが「仲間」です。人生を豊かにする仲間と出会い、ネットワークを紡いでいく場としてNext Stageが末永く活かされることを願っています。

J-Win Next Stage の活動目的

J-Win Next Stage は J-Win の 2 年間にわたる女性メンバー活動を修了した OG のネットワークとして 2011 年 8 月に発足しました。この活動は「Women to the Top!」を目指して“Switch On”した女性メンバーが、“Gear Up”して自主的に参加するネットワークです。Next Stage メンバーは高い志を持ち、企業・組織、社会に貢献するため自分自身の成長とキャリアに挑戦を続けています。

Vision

私たちが企業・社会を変える原動力になる。Women to the Quality!

目的

1. 「Women to the Quality !」を目指してネットワーク活動に参加することにより、自己研鑽を継続し、自己成長を図ります。
2. 自主的な活動を通じて個を高めることにより、働く女性、後輩や学生の成長を支援し、企業・組織や社会に貢献します。

目標 私たちは宣言します!

① 個を高めプレゼンスを向上させる活動をします。

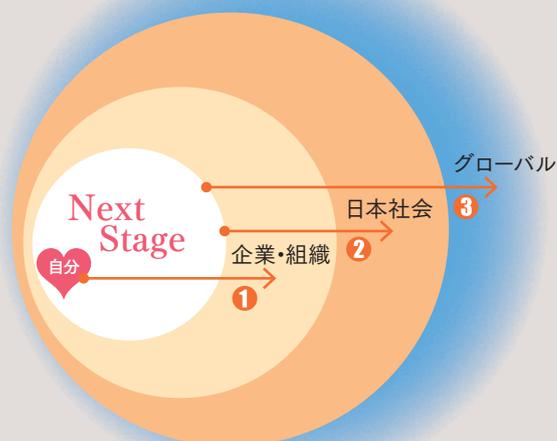
メンバー一人ひとりが企業・組織や社会に貢献して成果を上げ、「存在感のあるリーダー」、憧れのロールモデルとなるため、新たな仕事に挑戦し続けます。

② 日本社会に貢献する活動をします。

メンバーはジェンダーエンパワメント指数を上げるポジションを得て活動することにより、「存在感のある団体」として、企業・組織、地域社会に貢献する活動を幅広く実行します。

③ グローバルに貢献する活動をします。

メンバーはグローバルでの活躍を目指すとともに、グローバルにもネットワークを広げて活動を実行します。



2012年度 幹事長からのメッセージ

遠藤佳代子

株式会社リクルートキャリアコンサルティング

Next Stage は名だたる企業の女性管理職とその予備軍が多く参加している類まれな組織です。内永理事長の薫陶を受けた我々はこれからの日本企業や世の中を変えていく原動力になりたいと思っています。なぜならばそれは我々が出身企業や後輩女性、ひいては日本社会に対してやらねばならぬ使命だからです。

我々は、自らが行動し成果を上げ、世の中に認知され、貢献することにより、女性の地位が上がり、社会がよくなることを目指しています。そのために、Next Stage メンバーは明るく、楽しく人生を謳歌しつつ、志を高くプライドを持ち、そして生涯現役を目指して行動していきます。

皆さんも是非一緒に頑張りましょう!

■ Next Stage メンバーとは?

形態：個人会員

会費：年 10,000 円

資格：J-Win の女性メンバー活動を修了した OG

会員資格永続可能

人数：2012 年度 約 220 名

構成：現在は J-Win 0 期～2 期メンバー

2013 年 4 月より 3 期メンバーも参加

■ Women to the Quality ! とは?

トップリーダーに相応しい「品格、人格、教養 + α」を有することを目指します。

■ Next Stage の特徴は?

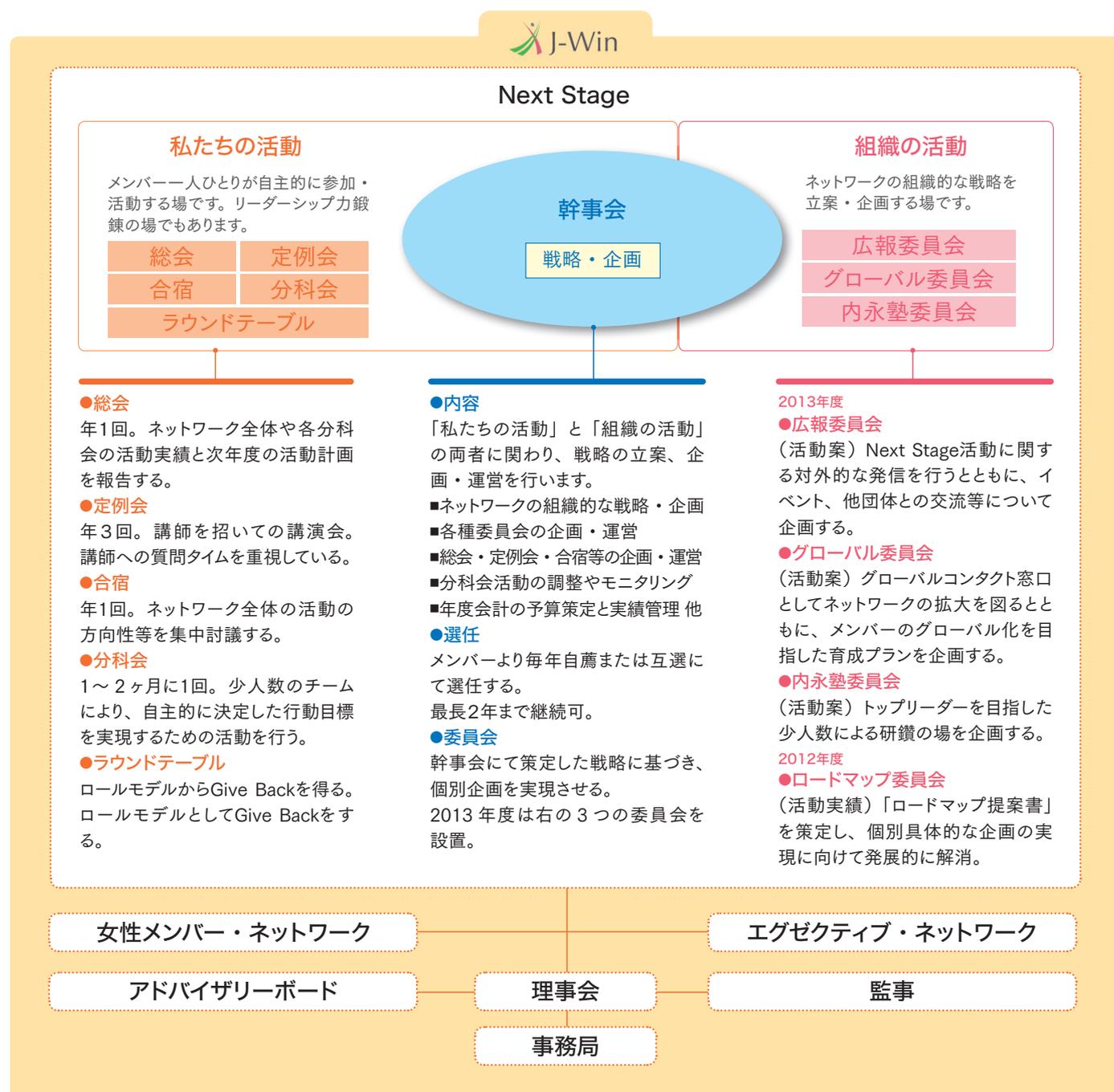
- ①働く女性が、基本的には平日の夜や休日を利用して、個人として参加、活動しています。
- ②できる時にできる人ができることを。お互いに支え合い、励まし合いながら活動しています。
- ③リーダーシップ力を鍛える場が数多くあります。
- ④いつまでも継続可能な Lifetime Network です。

J-Win Next Stage の活動内容

J-Win Next Stageは2012年2月から約1年間をかけて、今後の活動方針を明確にするため、VISIONと目標、そしてそれを実現するためのロードマップを策定しました。同時に、活動内容をメンバー一人ひとりが自主的に参加する「私たちの活動」とネットワーク全体の戦略・企画を立案・実行する「組織の活動」に分け、活動を推進していく組織・運営体制を明確にしました。

■ロードマップ委員会による行動計画案 (2013年度以降)

- | | |
|---------------------------|---|
| 1 インプット重視からアウトプット重視の活動へ進化 | 一人ひとりが「学び」を「行動」へつなげる。メンバー自身も、ネットワークとしても外へ発信する。 |
| 2 新たに委員会を設置し、全体活動を強化 | 全体活動として、対外的な発信や交流、グローバル化への対応、トップリーダーの輩出の3つにフォーカスし、具体的な戦略を立案し、企画を実行する。 |
| 3 定点観測によるスコアカード策定 | 活動実績のモニタリングや次期の計画立案に活用する。 |



学生キャリア支援分科会

企業で働く魅力を伝えます！

LEADER: リーダー

峯 よう子 (株式会社人財育成大重塾)

SUB LEADER: サブリーダー

梅 香緒里 (株式会社オリエンタルランド)

「企業で働く」ことは、学生にとって社会に出る時の選択肢の一つです。ところが、残念ながら学生たちには「企業で働く」ことを具体的にイメージできる機会が殆ど無く、特に企業で働く女性へのイメージは驚くべきことに未だに「コピーとお茶くみ」。これではやる気のある学生は企業を選択肢から外してしまいます。

そこで私たちは学生に選択肢を広げ、社会に出ることや企業で働くことに期待感を持ってもらえるようキャリアセミナーを実施しています。そして一人でも多くの学生がやる気や夢を抱いて企業で働くことを選択してくれることを願っています。

リアルな私たちの声が、学生たちの未来に向けての最初の一步に貢献できることを目指して一緒に活動しましょう！

(文: 峯 よう子 株式会社人財育成大重塾)

メンバー数
16名



メンバー数
15名



マネジメント研究会

マネジメント視点で課題に取り組む元気集団

LEADER: リーダー

澤谷由里子 (独立行政法人 科学技術振興機構)

SUB LEADER: サブリーダー

中村眞由美 (みずほ証券株式会社) 金田由美 (大日本印刷株式会社)

「マネジメントの意義」「マネージャーのあるべき姿は」。我々にとって根源に迫る課題に、果敢に挑戦しています。月1回の定例会、社外有識者を招いての講演会や勉強会を開催し、学会での発表をしています。

あまりに漠としたお題への戸惑いはありつつも、そこはJ-Win 卒業生、白熱する論議の中に、方向性を見出し始めています。「ホワイトカラーの価値づくりとコミュニケーション力」「情報技術の職場への導入」などの課題に向き合います。ぜひ、皆さん、ご参加ください。

■これまでの活動

- ・社外有識者による講演会、他分科会との合同勉強会／メンバーによる学会発表 (澤谷由里子、伊藤晶子)

(文: 大瀧知子 ソニーマーケティング株式会社)

東北の復興を応援する分科会

“ゆるく、ながく、被災地を忘れない！”を合言葉に！

LEADER: リーダー

西尾優子 (株式会社三菱東京UFJ銀行)

SUB LEADER: サブリーダー

川端美穂 (有限責任 あずさ監査法人) 矢野美佳 (日本生命保険相互会社)

私たちは、復興を担っていく子どもと同世代の働く女性を対象に、「心のケア」「それにつながる応援」をテーマに活動しています。これまでに、被災地の小中学校に教材やジェットヒーターを寄贈。また、被災地の現状を体感するため「東北応援ツアー」を実施、宮城県気仙沼市を訪ね、市街地視察、復興に取り組む女性のみなさんとの交流、唐桑にて牡蠣の養殖のお手伝いを行いました。被災地で交流した方々からの「忘れないで」というメッセージを受け、旅のご縁をつなぎ、牡蠣やホタテをはじめとする食材を日本酒や地ビールとともにいただく「東北の食材を堪能する会」も開催しました。

食べて、飲んで、被災地のためにお金を使う、これが私たちの“応援”スタイル。ぜひ一緒に活動しましょう！

(文: 木村由美子 アズビル株式会社)

メンバー数
31名



メンバー数
23名



技術系分科会

「Oh, Engineers！」

LEADER: リーダー

伊藤晶子 (東日本旅客鉄道株式会社)

SUB LEADER: サブリーダー

執行部 5名

企業の発展・日本の技術力向上に貢献できるようなコミュニティの構築と、メンバー各々が“エンジニア”としてのロールモデルを目指して活動しています。

企業内技術者には“成長の場”を、学生には企業で働くキャリアパスに触れることで、企業内技術者という進路に対する理解を深める“学びの場”を作っています。活動を通じ、2011年に日本の団体としては初めて米国SWE(Society of Women Engineers)アワードを受賞し、2012年度は主に異業種交流会などを行っています。

愚直に(ときには大胆に…)活動を継続し、実践・検証を繰り返しながらコミュニティを発展させていきたいと考えています。

メンバー同士・後輩達・学生達とお互いに刺激し合い、成長を続けましょう！(文: 石田あずさ キャタピラー・ジャパン株式会社)

KIGYO SOUZO 分科会

多様な知識と発想を活かして新しい価値を創造!

LEADER: リーダー

林 雅子 (アサヒビール株式会社)

SUB LEADER: サブリーダー

時田範子 (みずほ証券株式会社) 永島朋子 (KDDI 株式会社)

多様な業種で職種や経験も異なるダイバーシティに富んだメンバーが集まり、それぞれの「企業」での専門知識やノウハウを共有しながら、「想像」力で日々の仕事に活かす。そして、夢は大きく?! 新規ビジネス「起業」の可能性もあるかもしれない。多様な私たちならではの新しい価値の創造を目指しています。

「●●の市場を拡大するには?」や「この商品、どうしたらもっとよくなる?」など、メンバーが携わる業界の課題から個人的な関心事まで、さまざまなテーマを取り上げ、自由な発想でアイデアを出し合います。実はいろいろアイデアがある! という方、皆からアイデアをほしいという方、これから発想力を高めたいという方も、ぜひ参加してみませんか。(文: 小林直美 MSD 株式会社)

メンバー数
14名



メンバー数
33名

WM 知恵袋分科会

「働くママはキレイになった!!」と言われるために…

LEADER: リーダー

辻田淑乃 (日本たばこ産業株式会社)

SUB LEADER: サブリーダー

金田由美 (大日本印刷株式会社) 南 澄恵 (株式会社オリエンタルランド)

井川美紀 (株式会社三菱東京UFJ銀行)

現代の働くママたち(WM)は、諸先輩が両立のために編み出した知恵、周囲のサポート、しなやかな生き方としたたかな熱意、企業・社会に対する地道な貢献の積み重ね等から、10年前と比べて着実にイキイキとしてきています。家庭も仕事も「人生フルコース※」で楽しむことに、日々感謝を忘れず、また現状に甘んずることなく謙虚に、WMの強みを期待に変えていきたいと考えています。

本分科会は、日々進化するWMを研究し、さらに10年後にますます輝くための秘策を考える場です。現役WMはもちろん、WM予備軍や職場の同僚・上司など、どなたでも大歓迎です。

※ J-Win 初代幹事長鷺谷万里氏がWMである自身を例えた言葉

(文: 辻田淑乃 日本たばこ産業株式会社)

マイナレッジ café 分科会

リーダーに相応しい視座を得る!

LEADER: リーダー

上場庸江 (株式会社三菱東京UFJ銀行)

SUB LEADER: サブリーダー

矢野美佳 (日本生命保険相互会社) 渡邊美和 (みずほ証券株式会社)

高橋英子 (株式会社富士通ワイエフシー)

当分科会のフォーカスは、相応のキャリアや専門性、人的ネットワークを持つメンバー自身! 互いにこの繋がりを活用しリーダーとしての視座を高めていこうと、講演や勉強会を企画実施しています。インプット(講演を聴く)だけでなく、お弁当を食べながらのディスカッションやワークショップ等、「理解して語れる&実践する」を意識した活動を目指しています。2012年度は、分科会メンバーの企業等から著名人をお招きする電力業界研究や資料作成力講義、経営学ワークショップに加え、メンバーが講師となって自身の専門分野を共有するなど、ビジネスにかかわる幅広いテーマでの企画を実施しました。どれも大好評で教養アップや気付きに繋がりました。一緒に視座を高める活動を続けていきましょう!(文: 上場庸江 株式会社三菱東京UFJ銀行)

メンバー数
42名



メンバー数
33名

マイ キャリア ~ We Can Work It Out ~ 分科会

「生涯現役ってカッコいい!」

LEADER: リーダー

所 利江子 (株式会社NTTデータ)

SUB LEADER: サブリーダー

宇佐美君枝 (株式会社三菱東京UFJ銀行) 森里洋子 (株式会社キャリアネットワーク)

「人生は一度きり。そして意外とあっという間。さらに、定年後の年金生活への期待もできない…となれば、輝いて☆ We Can Work It Out!」

生涯現役による自助自立こそ私たちの想いです。自助自立こそが最高の社会貢献。震災後の日本が元気になることが世界への恩返し。だから、生きている限り「We Can Work It Out」(生涯現役ってカッコいい!)

セカンドキャリアのみならず人生のNext Stageを目指し、生涯現役に向けて一緒に一歩を踏み出しませんか?

世の中は「額」に汗かく時代から「脳」に汗かくキャリアに価値変革の時代。女性もたくさん汗かけそうですよね。みなさん!

いざ、We Can Work It Out! (文: 所 利江子 株式会社NTTデータ)

女性リーダー育成分科会

少人数コミュニケーションが魅力!

LEADER: リーダー

栗原栄子 (大日本住友製薬株式会社) (サブリーダー)

SUB LEADER: サブリーダー

下 章子 (アズビル株式会社)

当分科会は、(1) グラスシーリング (部長想定) を突破するための手助けや意識づけを室長、部長クラスのメンバーから行う。(2) Switch On されているが、管理職・部長職にノミネートされるための自己研鑽にもつながる活動を行う。

という2つのテーマで日頃、お会いできない諸先輩から少人数でお話をいただくアドバイス会を実施しており、いままでに4回開催しました。

リーダーは3ヶ月ごとの交代制。リーダー就任中は自分のしたい企画が実施できます。少人数だから可能になる「直接お話を聞く&気軽に質問する」は双方向性が高く、質問している一人ひとりに合わせた回答をいただくことができるのでとても貴重な機会。毎回元気をチャージできます! (文: 下 章子 アズビル株式会社)

メンバー数
17名



メンバー数
27名

関西分科会

関西のダイバーシティ推進活動の活性化のために

LEADER: リーダー

米奥美由紀 (アステラス製薬株式会社)

SUB LEADER: サブリーダー

加島綾乃 (大日本住友製薬株式会社) 西村香代 (株式会社NTTマーケティングアクト)

関西にはダイバーシティに関するセミナー等の機会が少なく、情報・活動量ともに心許ない状況にあるため、「関西のダイバーシティ推進活動を活性化したい」との目的で、自己研鑽、会員企業の後輩女性社員を対象としたセミナーの開催などの活動をしています。

2年間計17回の分科会活動において、6回のセミナーを開催、参加者は延べ242名(分科会メンバーを除く)でした。その結実として、内永理事長を関西にお招きしたいというメンバー全員の熱い想いが、2012年12月、内永理事長と関西企業経営層とのラウンドテーブル及び200名を対象とした特別講演会の開催という形で実現しました。

今後も、J-Win事務局・他の関西ネットワークとも連携しながら、様々な企画を実現し、関西を元気にしていきます。

(文: 米奥美由紀 アステラス製薬株式会社)

グローバルリーダー分科会

“世界標準”の自分を目指して

LEADER: リーダー

平山清美 (MSD 株式会社)

SUB LEADER: サブリーダー

大島明子 (和光堂株式会社)

私たちは、近い将来世界に飛び出し働くこと、海外でも戦える仕事の仕方や教養・考え方を身につけることを目指し、以下のような活動をしています。

(1) グローバルに活躍されている女性リーダーや日本で働く外国人との交流を通し、グローバルで仕事をする上での日本人の強みと課題、また身につけるべきことなどを探る取り組み。

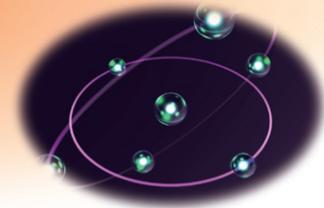
(2) 日本人の弱点の一つであるディスカッション力強化を課題とし、テーマを設けて深く考え意見を主張していくディスカッション形式の勉強会。

今後は、硬軟織り交ぜ、もっと活動の幅を広げていきたいと思っています。海外のお仕事に関係なくとも、「グローバル」を考える方ならどなたでも大歓迎です! (文: 大島明子 和光堂株式会社)

メンバー数
17名



Next Stage 分科会活動の ご紹介



分科会活動について

1. 分科会とは…

分科会は Next Stage の正式な活動体の1つとして、共通の関心事をテーマに少人数のグループを形成し、相互研鑽を行う場です。多くの魅力的な分科会が活動中であり、複数の分科会に所属しているメンバーも数多くいます。

2. 分科会を立ち上げるには…

発起人がSNSに設立趣旨を明示し、それに賛同する10名以上のメンバーが登録することで分科会は成立します。ここでのリーダーシップ経験が自己成長につながり企業活動に生きてくることから、興味のあるテーマに関する分科会の設立にみな積極的に手を挙げています。もちろん、既存の分科会にも随時加入できます。

どの分科会もJ-Win 卒業生が年次にかかわらず一緒に活動しており、現役時代以上にネットワークが広がり、豊かな能力や経験を持つメンバーと活動をともにすることができます。

3. 活動計画と予算について…

毎年、年間の活動方針・計画・予算を策定し、分科会を運営しています。分科会活動を推進するために必要な費用は、予算内で執行することができます。広く分科会メンバー以外に参加の機会を与える内容であれば、予算を追加付与される場合もあります。年間の活動計画と活動実績は年次総会にて報告します。

全体活動のご紹介

～総会・定例会・合宿・ラウンドテーブルなど～

Next Stage の活動では、これまで毎年 3 回の定例会を企画・実施してきました。幹事会が中心となって、私たちの課題や目標に沿った講演テーマを検討し、講師への交渉や事前打合せなども自分たちで行っています。会場も

メンバー企業のご協力をいただくことも多く、大阪との中継なども実施しています。各メンバーが自分の得意なことを活動に活かすと同時に、この企画プロセス自体が通常の仕事では得られない成長の機会となっています。

2011年度 第1回定例会

2011年8月23日・みずほ証券セミナールーム

アジェンダ ● 遠藤佳子幹事長挨拶／内永ゆか子理事長スピーチ／尾崎俊哉理事スピーチ／1・2期OG活動紹介と今後の活動について

2011年度 第2回定例会

2011年11月15日・株式会社インテージ秋葉原ビル（インテージ西日本支社と中継）

ご講演 ● 作ろう 私のキャリアプラン～キャリアデザインの方法／株式会社リクルートホールディングス リクルートワークス研究所 専任役員 大久保幸夫氏



2011年度 合宿

2012年2月4・5日 箱根・ホテル河鹿荘

幹事・分科会三役による集中討議 ●

「Next Stage今後の活動の方向性」

2011年度 第3回定例会

2012年2月16日・NTTデータ株式会社 カンファレンスルーム

ご講演 ● エグゼクティブを目指す女性たちへ～グローバル時代のキャリア～／G&S Global Advisors Inc. 代表取締役社長 橋・フクシマ・咲江氏



2012年度 年次総会

2012年5月11日・六本木アークヒルズ



アジェンダ ● ご来賓ご挨拶 J-Win エグゼクティブネットワーク 永田亮子氏／内永ゆか子理事長メッセージ+Q&A／年次報告及び計画説明 幹事会・会計・各分科会懇親会／乾杯 女性メンバー第3期幹事長 幡 容子氏

2012年度 第1回定例会

2012年7月19日・大日本住友製薬株式会社 東京支社（大日本住友製薬大阪本社と中継）



ご講演 ● 挑戦を楽しむ。ネクストステージへ／株式会社イー・ウーマン代表取締役社長 佐々木かをり氏

2012年度 第2回定例会

2012年10月19日・MSD株式会社7階ホール（MSD大阪支社と中継）

ご講演 ● “Women to the Top!”を目指す女性への期待とアドバイス／株式会社LIXILグループ取締役代表執行役社長兼CEO 藤森義明氏／株式会社LIXILグループ執行役 副社長 人事総務・法務担当 八木洋介氏



藤森義明氏

八木洋介氏

2012年11月2日 東京ミッドタウン

豪華9名のJENメンバーによるパネルディスカッション「JENメンバーにズバリ聞いちゃいます！ エグゼクティブになる秘訣は？」／8テーブルに分かれての少人数ラウンドテーブル

2012年12月8・9日 箱根・ホテル河鹿荘

全員参加でのワークショップ開催 ● 「Next Stage 将来の活動の方向性」

2013年2月6日・大日本住友製薬株式会社 東京支社（大日本住友製薬大阪本社と中継）



ご講演 ● 挑戦し続ければ夢は実現する～自分に挑戦していますか？／公益財団法人国際スクール・オブ・アジア軽井沢設立準備財団代表理事 小林りん氏

各回の講演は、当日出席できなかった方のために、レポート・写真などを会員専用サイトに掲載しています。また期間限定で動画を公開することもあります。女性メンバー時代のようには定例会に参加できないという方にも共有していただけるよう、配慮して運営しています。